

保育座談會 (第二回)

七月五日午後一時から東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て。

出席者は

倉橋教授、堀主事、新庄、神原、徳久、白根、澤の各保母に成城學園から大塚喜一氏加はる。

神原 前回で、問題「幼児の仕事の際に於ける保母の態度並に、若し保母の力を加ふべき場合如何程の程度に力を添へていゝでせうか」のうち自由畫だけすみましたから今日はその残りを續けていたゞきます。

新庄 今日皆さんからお分りにならない事を仰つて下さいな(問題出です)

神原 私、この前の自由畫でもう分つた様な氣が致しますから、他の方々から問題が出なければ「分

園作業に適當な人数の最少限度」を伺ひ度うでございます。何人位が一等よろしいでせう。

大塚 それは先生が分團にさせるのですか。例へば机の配列などを何人位づつの分團が出来る様に並べてあげばよいといふのですか。又は自由遊の時に子供が自然に自發的に作業分團についてですか。

新庄 室内で仕事をする時、何人位でしたら宜しかと云ふのです。幼児が自然に分團をつくるのは、何れ位がよろしいのか仕事によつて困る事があります。一人づつでする事がありますが、幼稚園の仕事として一人づつは特別の場合を除いては何うでせうか。

堀 今の大塚君の質問の如く、先生の方から何人

かを分團にする時と、子供が自然に集つて分團をなす時とある。子供が自然に集つた時に、こちらでそれを大きくしたり小さくしたり制限をつけるか、つけぬか。先生が分團にさせるのか、自然に分團になるのに任せるか。

新庄 私の尋ねしたのは先生がさせる時です。

倉橋 實際の場合、自然にまかせた時に何れ位が最大の分團になるかは作業の種類によつて違つて來ますね。まゝごとの時は自然に多くなるでせう。

新庄 入つて丁載なと云つて入りませすからね。

倉橋 自然に子供がよるのにはいろんな場合があつて研究しなければなりません、今の新庄さんの問題は寧ろ、何人位で仕事をさせた方が手勝手がよいかと云ふのでせう。實際の場合、學理上何人と云ふ事はないんぢやないでせうか。

堀 先生の分團作業を指導する能力と、子供が自

然に何れ位集つて來るかの二方面より見ることに必要でせう。

倉橋 問題は、つまり、子供の相互性のうまくゆく社會的心理といふ事になるが、五六人から六七人。三人では少なすぎ、十人以上では君、僕との關係が十分にゆかぬと我々はそう想像します。が何うです。

新庄 大抵は、それ位の人數で致して居りますけれどもひとり／＼を餘り見過ぎますと、時には五人でも多過ぎてそれがいけないかとさへ思はされる事があります。仕事にもよりますけど。倉橋 一人々々の子供を見るには、どうでしょうが、分團保育としては、相互生活のよく行はれるのを主にしたい。ところで、子ども達としては、どういふ風に分團をつくつてゆくでしょう。

新庄 それは來たい者が來て。

堀 その時に何れ位集るだらうか。

新庄 子供の、友達を集める力によつて違ひますが、

私の組では男の子はみんな一緒に致します。

堀 新庄さんの組は少いんだらう。

新庄 男兒は十人位ですわ。

今橋 ことに注意することは、五人、十人机を圍んでゐてもその間の關係がなくては駄目です。相互と云つても、五六人で一つの軍略をつくるといふ風な本當の相互の場合もあるし、銘々の仕事をしてゐて「君のは何うだい」「これ御覽ん」の純仕事中心でない相互もある。

新庄 皆さんとは何人ぐらゐでせう。

徳久 一つの机に七八人。でないといふ小さい組では眞

似てしまひますの。

堀 各組三十人になつてゐるが、餘り分團の数が

多すぎても管理が出来ぬ。

今橋 左う云ふ實際問題にも支配される。考への上に區別すれば、自然に出來たグループと先生が

決めたグループといふことになるが不斷はまよ

つて行はれてゐるのでせう。事實は何うなので

すか。一緒に扱つてゐることもあるけれども、

それを本體にしてはゐないでせうが。

大塚さん、あなたの所は子供の数が尠いから、

子供が自然に分團をつくる要件が大いに主です

ね。此處ではさう許りもいかな。

大塚 今日僕のはたつた六人でしたよ。

新庄 それ丈ぢや分團保育も何も出來やしません

ね。

大塚 いや、三人宛、或は四人に二人で、

新庄 分團保育の最少限度をお伺ひし度いのです。

今橋 二人では、相互作用を元とした集りとは考へ

られない。三人以上といふことになりませんが、

まあ、五六人でせうね。

大塚 それは保育室に於いての席の配列の問題になり

ますか。

新庄 いや、仕事の方から云つて

倉橋 まあ、四五人以上、多くも十人以下です。それで机の配列を何うすればいいか。配列は室の中の机の置き方ですね。これは極めて簡単な先生の便利が主ですな。餘り亂雑なるよりは多少整頓的なるがよい。

堀 同時に、お互の分團が邪魔にならぬやう、光線の問題も考へて配列せねばなりませんね。

倉橋 二十坪に三十人を入れるとゆとりある空間は出来るがこれで最少限度です。もし狭い室に四十人も入つてゐるとなれば分團が六かしい。堀 アメリカの幼稚園などでは大きな一つの室に幾組も入つてゐる。日本では狭い一室に一組で不自由してゐる。

大家 それぢや大きな一室に幾組も入ることにして、衝立を使へば、堀 衝立がなくともよい。廣い室だからあつちで

仕事をし、此方で話をするとしても一向差支ない。

倉橋 それに關聯して。分團保育がうまく出来る餘裕があるとしても、仕事の關係で或る者は戸外に出てしまふ。室内が狭い時に尙且つ分團保育をなさんとする時は或る子供を戸外に出さねばならない。分團保育の本來の経過からも、室外保育と室内保育の問題になる。何時も諸所で云はれる事ですが、お茶の水幼稚園では實習科の生徒が多いからそういう事も出来るか、組の先生一人では出来ない。

新庄 組によつて違ひますけれど、子供によつて分團保育のし易い時と、目を離されぬ時とあります。今の組では私が室内に居りまして外に出しましても少しも心配はありませんねが。

堀 室外の子供を打つちやつておくか。室内の子供をすてゝおくか。

倉橋 そのぎりぐりの場合を問題にしよう。

堀 新庄さんの室は室内も戸外の様子も見えるが、普通の幼稚園は見えぬ場合が多いのだからね。

倉橋 分團保育の賛成者も、それで、實行出來ぬといふ人がある。

堀 日本の幼稚園がいかぬ。自分の組だけしか氣をつけない人だから。幼稚園全體としての分團保育を考へればよい。

新庄 それとなく致して居りますよ。ね、皆さん。

倉橋 心持の問題は六ツかしい様でもあるが、何誰かが外にゐらつしやるからうちの子をも見て貰ふ。他の子と雖も同じに世話する氣があれば必ずしも六ツかしくない。

堀 日本で分團保育を實行しようとするれば幼稚園全體として考へなければならぬ。現に或る幼稚園では休み時間といふものがあつて、全部外に

出る、この時主任、園長は中に居る。こんな時に怪我でも起さうものなら責任が大變だ。

倉橋 極く、實際問題を考へると一番本當の保育としてやる時に、最も多くの時間充實で纏めてゆかうとすれば各時間は一齊で幼稚園全體は分團的に動く。その中で分團保育をする場合は誰かゝ多少の形式的充實を離れなければ出來ない。斯う云ふ幼稚園の状態では理想的には——絶え間ない理想を實現することは出來ない。が、幼稚園全體の相談で一週に一度か二度でもよい——これをやるとよい。

新庄 戸外は何處かの組の先生が何となく、みてゐて下さることを本體として、室内は思ひ切つて分團保育にすればよろしうございますね。

堀 その場合、遊戲室の先生とか、戸外の先生とか、ダルトンプランのやうに、ドコの組の子供でも、その場所の先生が指導する、左ういふ風

に出来ませんか。

倉橋 外にゐる先生は日に焦ける。(一同笑ひこける)

堀 一日交代でも、時間交代でもいいから。出来ませんかね。

新庄 いやですわ。満足出来ませんわ。

堀 それが出来れば日本の幼稚園で分團保育が出来ると思ふ。先生の得意な方面を受け持つて。

倉橋 大塚さん、先日君のお話しのダルトン・プランのやうに仕事分けてやらうと云ふのはそれぢやないですか。

大塚 あれば室内での仕事分けてです。

倉橋 今の堀さんの案を行へば仕事の室をつくることになる。

堀 大積木で遊ぶ子供が多くなれば積木室にも先生がつく。

新庄 その組の先生の外にそんな先生が居るとよ

50

堀 左う云ふ氣持なので中等學校でも日本ではダルトンプランが出来ない。専科の先生は先生の様な氣がしない。

倉橋 局長と技師くらゐに分けて考へる。

大塚 此頃やりかけてゐるのは、三つの室はいろ／＼な仕事を用意し一人づゝ先生がついて子供をして自分の行きたいと思ふ室を選択させて行かせてゐるのですが、其最初の日には僕の室には僕の組の子供だけが入つて來て他の子供は一人も來ませんでした。

倉橋 子供の方にも習慣がついてゐる。小さい幼稚園でなくちや出来ない。

堀 アメリカのやうに廣い一室に一緒にゐるのでなくちや出来ない、日本のやり方では、先生一人にそれ／＼の組なのだから子供に對しては主任はいらぬわけだ。幼稚園全體が外に對して丈

の主任である。

倉橋 所で、それは完全に實現しさうにもないが、今のまゝでもよ、その組の子供がよ、その先生に話を聞きに行く、今の精神と違ふかも知れぬがちよい／＼こんな事をやつてみるがよい。この附屬小學校では少し上級組(中學年)になると分科的になつてゐるので、よ、その先生に尋ねに行つたりしてゐる様ですが、幼稚園では六ツかしいけれどやつてみると面白い。どこかの組で活動寫真とか、お芝居をする時は行きますね。

新庄 興行の時にね。

大塚 みんな行きますか。

倉橋 残つてゐる子供もありますね。實習科の生徒が居りますから自然に運びます。

倉橋 制度の問題になりませんが、英國の保育學校の制度のように各幼稚園にプロベーションナー(助手と譯しませうか)が出来るとうよろしいです

な。

大塚 受持なしですか。

堀 外國の方では受持の感が強くない。

新庄 斯んな制度の幼稚園だから組を思ひ過ぎます。

倉橋 よ、その子の世話をしないぢやないが、その子のお母さんに對して控へるといふ所ですか。

餘計な遠慮。

倉橋 そこで僕の云ふ名言となれば、保育上の管理責任について 自分の組の責任を負ひ、保育作用になれば解けたり結ばれたり、目前で出来るものに責任を持つ。

新庄 必要にせまられると出来て居ります。

倉橋 本來として、さう考へられればいいのです。

例外的には行はれてゐるのでせうから。つまり私の問題にするわけはこのやうな人手の多い所のみ分團保育は出来るわけでないと思へた

い。此處の様に都合よくは出来ない、保母さん
に、く、く、出来るのみならず、子供が絶えず、
度々これを受けてゐる。

堀 そこで今一つ疑問に思ふのは、自分の組の者
と遊ぶか、よ、その組とは遊ぶべぬといふか。

新庄 何となく、組の子同志ですね。

倉橋 組別が、組對抗教育になつてゐる事があるね。

子供など、ブリミティブな間は廣さよりも狭い
仲間、黨派心理がある。習慣の問題だけでなく
てね。

新庄 先生にしても、他の組の子よりも自分の組の
子

倉橋 先生が、よ、その組の子と遊ぶぢやないよと
言ひませんか。

新庄 まさかねえ。(笑)

堀 日本の家庭がさうだからね。

倉橋 よ、その組を除けはしないが、お邪魔にならぬ

やうにつて日本では云ふね。

新庄 時にお邪魔になりますもの。遊戯をして居り
ます時などに、来て騒がれますとね。

倉橋 よ、その組へ来て騒ぐのは組の子、よ、その子の
如何に關らずいけない。

新庄 腰かけて見ていらつしやいつて申します。時
には遊戯をして居ります圓をすまして横つて行
く子がありますもの。

倉橋 一種の反感からか。

新庄 そんな意味などなささうです。いはゞ訓練が
届いてゐないつて云はれるかも知れませぬ。

倉橋 よ、その子が來たら積極的に「お入りなさい」の
仕組に出る精神が今は足りない。

新庄 そうするなら、何の組でも同じ遊戯なり唱歌
をしなくちや困りますわ。

倉橋 これは一番の實際問題だ。

堀 それは度量さへあれば出来る。

倉橋 よ、その子が来たなら入れる様に幾つか準備して

おく事は出来る。

新庄 そりや幾つかは出来ませうけれど。

堀 幼稚園全體單位とすりや出来る。小さな幼稚園

園でね。自分の組で話を聞きたくなかつて、遊

戯室に来たので一緒に入れてやる。

新庄 子供は自分の組の先生にして貰ひ度いので

す。

倉橋 それは大きに、そうでしょう、仕事の内容本

位としても生活したいし、又、人間的慾求が濃

厚ですから自分の組の先生でなくちやといふこ

ともあるのですね。

新庄 今のところ自分の組の先生でなくちや、遊戯

をさせて頂だいとは云ひませぬ。

倉橋 お話などは、よその先生のを聞いてるでせう。

堀 僕のやうな者が外に出て「粹登り」にでも登つ

てゐると方々の組の子供が澤山よつて来る。

新庄 そりや共有の主事だからですからあたりまへ

です。(一同笑)

倉橋 理窟におきかへれば、自分の組の先生に差別

感を持つのは止むを得ない、誰でも主事さんに

つぐが組の先生にほどは熱を持つまい。

堀 子供の我が家には父母があるが、隣の庭に行

つて遊んでゐる時にはそのお父さん、お母さ

んを相手にするしその話も聞きまた遊びもする

でせう。あまり自分の組の先生だけが先生で他

は先生でないなどといふ感じは周圍から仕向け

るからですね。

倉橋 家庭の場合では六つかしいが幼稚園では家庭

でよりはやさしい。不斷は別々にゐるが、一緒

になる時は親ごと一緒になる。又この中間があ

つてよいと思ふ。

新庄 機會を捕へればいくらもありますね。

堀 もつと、自分の組、よその組の感がモット緩

和して來なければ分團保育は出來ぬ。

新庄 こゝは分團保育がかなり出來てゐますからそんななにか考へなかつたのです。

倉橋 私のうちへ近所の子供がかなり遊びに來ますが、その中の一人の女の子は、「ヲバチャン」つてまづ聲をかけて次に「デイチャンキル？」、「ぢいちゃん」が居るとそのまゝ歸つてしまふ。斯の如きいゝぢいちゃんに對してすら。こうした觀念です。をばちゃんは、うちの母ちゃんやうな人として見るのですね。よその組の先生はまあ、少しくぢいちゃん要素がある。

堀 僕は皆さんより朝早く來てゐてね、よく見受けるのだが、早く登園した子供は先生が來ないのでつまらない。そのうちに片方の組の子供は先生は來てよろこんでゐるが、隣の組の子供はつまらない顔してゐる。誰先生が來ても幼稚園が初まるやうにありたい。

倉橋 昔の幼稚園は實に一齊的に動いてゐたから組

に分れてゐる意義が明白りしなかつた。それで組の自由を叫んだのだが、この頃は組は獨立、御近所つき合を唱導してゐます。この御近所つき合が徹底すればいい。

新庄 こゝの幼稚園だつて堀先生が仰るやうに組、組とまるつきり區別しては居りませんわ。

堀 組本位が強い。

倉橋 誇張しなければ話にならないから。

新庄 仕事をする時が組別なので其のほかはさうでもありませんよ。

倉橋 先生の心持では區別してゐないけれども、全體の組織で組を結びつける積極的努力が足りないと、組別け精神が子供にいら過ぎる。

堀 日本の社會がさうなつてゐる。

倉橋 學校許りぢやない、社會生活としての訓練が出來てゐないのだね。

堀 保育實習科を毎學期組變させるのはその意味で廣く何の組の子供も一樣に見るやうにさせたためですよ。澤さん、白根さん、受持になつて見て、組を持つてゐる方がよいと思ひますか。受持がなくて主事と同じ様に、その組の先生でもあるといふのと比べて、何方がいゝですか。

徳久 受持の組がなければ張合がありませんわ。

倉橋 みんな、内閣の一員と心得ればいゝ。各省の主務大臣であると共に、内閣の一員でもある。話を大きくすればね。

堀 さあ本日はこの邊で切上げませう。そろく御馳走でも出して下さう。

大塚 僕よいところへ來ましたね。

倉橋 これからが本當の座談會になるかも知れな
う。

堀 食ふ段になると本當に話がはづんで座談會になる。

(事實、これからが大層面白い座談會になりました。が筆記掛も口の方が忙しくて書けなかつたので割愛せねばなりません。)

